

平成26年度 都城商業高等学校 自己評価 および 学校関係者評価

学校経営ビジョン 自信と誇り、高い志を持つ自立した経済人の育成を目指し、地域および県民の負託に応える学校の創造	[学校関係者評価のポイント] <ul style="list-style-type: none"> 自己評価の項目や指標は、適切に設定されているか。 自己評価の結果は、具体的方策・指標等をもとにした妥当なものであるか。 自己評価の結果を踏まえた成果と改善策は適切であるか。
本年度の重点目標 (1) 学力向上 普通教科、専門教科を問わず、授業を通して高い教養と専門性を身につけさせ、産業社会に貢献できる生徒の育成を目指す。 (2) 自律した品格ある生徒の育成 本校生徒としての誇りを持ち、言動に責任のある自律した品格のある生徒を育成する。 (3) 部活動を通して高い人間力を持つ生徒の育成 体育系部活動・文化系部活動とも、本校部活動の輝かしい歴史を継承するとともに、さらに高い目標に挑戦する。競い合い、助け合い、学び合う中で、高い人間性、人間力を持つ生徒の育成を図る。 (4) 地域文化を担い、貢献できる生徒の育成 地域社会と積極的に様々な交流を行うことで、生徒の見識を広めさせ、社会性や公共心の育成を図る。	

4段階評価	4：期待以上	3：ほぼ期待通り	2：やや期待を下回る	1：改善を要する
-------	--------	----------	------------	----------

【学力向上】 普通教科・専門教科を問わず、授業を通して高い教養と専門性を身につけさせ、産業社会に貢献できる生徒の育成を目指す。					
評価項目	具体的方策 または 指標等	取組の成果と課題 および 改善策等	自己評価	学校関係者評価	学校関係者評価コメント
① 教材研究、研究授業、授業評価を推進し、教科として質の高い、魅力ある授業を構築する。	<ul style="list-style-type: none"> 「公開授業」の強化期間を設け、同一教科・他教科相互に参観できる機会をつくり、わかりやすく、生徒が興味を持てる授業をめざす。 教員の授業力の向上を図るため、各教科の「研究授業」を実施する。 生徒による授業評価を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度より公開授業など授業研修の機会を増やし、積極的に行うようにしている。また今年度より、生徒による授業評価を実施しており、授業実践の検証と改善に努めている。次年度はさらに推進し、特に授業評価の集約を行い、職員研修等でさらなる授業改善に努めたい。 授業改善につながる研究授業が出来た。高度な知識・技術の習得に取り組んだ。 	3	3	<ul style="list-style-type: none"> 研究授業の機会を増やした努力に加え、生徒による授業評価を取り入れたことを高く評価する。 昨年度の職員アンケートを基にしたカリキュラム編成や中期計画については今後注目していきたい。
② 生徒の進路目標に応じた計画的な教科指導を構築する。	<ul style="list-style-type: none"> 2学期制の特色を生かし、前期と後期で異なった教科・科目を配置するなど、生徒の進路実現に適った教科指導を行う。 カリキュラムの編成にあたって、生徒の進路目標等を考慮した選択科目や学校設定科目の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 2学期制について昨年度職員へアンケート調査を行い、2学期制の長所や短所などの検証を行った。その結果、継続しながらさらに長所を生かすような教育課程の編成をしなければならないと思う。また国際経済科の募集停止は大きな変革時期の到来であると考え、3年後、5年後といった中期計画を立案し、教育課程の編成に努めたい。 進学対応や新課程に応じた指導、小論文指導等に教材の工夫をして選択科目の充実を図った。 	3		<ul style="list-style-type: none"> 国際経済科の募集停止があったが、今後も商業高校として特色ある取組みを期待する。 小論文指導の教材の工夫は大変興味深い。
③ 生徒の自己学習力(自宅学習の在り方、考査前の自己学習の取組等)を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査前に、宅習調査を実施することにより、学習に対する生徒の意欲喚起を図る。 宅習調査の結果を集約し、学級担任や教科担任へ還元し、今後の学習指導に活かす。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査前の学習会の実施や宅習調査を行い、生徒の意欲を喚起した。また長期休業中の課題帳を作り、自宅学習の習慣化の定着を図ったが、定着までには至らなかった。日々指導し続けることは重要であるため、今後も続けていきたい。 教科ごとに小テストや日々課題、週末課題などの教材を使い宅習の定着を図る工夫をした。 	3		<ul style="list-style-type: none"> 都商生は勉学と部活動の両立という大変さ抱えながら良く頑張っていると思う。教職員や外部コーチ等の工夫とサポートのおかげであると思う。
④ 高度資格取得を推進する。(各種検定への挑戦)	<ul style="list-style-type: none"> 検定試験前に受検者全員に対して、合格を目指し、課外を実施する。 高度資格取得を目指す受検者に対しては、計画的に早朝課外を実施する。 合格率の向上をめざす。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事に課外を設定し、各種資格取得の推進に努めた。高度資格取得については、朝の課外や該当する部活動との連携などを行いながら今後も推進していく。 資格取得は、年間指導計画を立て、日々課題や検定課外など実施して指導している。高度資格検定については、早朝の課外で対応するなどして成果を上げている。 課題などを各学年で工夫して、家庭学習を徹底させる努力を続けている。 	3		<ul style="list-style-type: none"> 高度資格取得では成果が上がっているのが嬉しい。 検定試験や定期考査前に課外を実施していただいているので、今後も継続してご指導いただきたい。
⑤ 3年間を見通したキャリア教育を確立する。	<ul style="list-style-type: none"> 学年に応じた進路ガイダンスを、計画的に実施する。 企業視察(1年)、インターンシップ(2年)、進路別学習会(3年)を行い、進路意識を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 3年生については、手厚いガイダンスを実施できたが、各学年においてニーズを見極めるのが難しかった部分もある。 進路指導部と教務部と連携して選択科目調査と進路希望の関連づけができるように努め、キャリア教育と進路行事との関連をもっと明確にしたい。 インターンシップ(3月)に向けて準備を進めている。 進路別の集会を複数回実施し、進路確定の徹底を図った。 	3		<ul style="list-style-type: none"> 1・2年の段階で進路を確定できない生徒も確かにいるかと思う。ニーズの見極めは難しい。選択科目調査を進路確定に活かそうという視点は有効だと思う。 進路情報発信はとっても重要なので、今後もこのような取組に期待する。
⑥ 生徒全員の進路保障を実現する。	<ul style="list-style-type: none"> 基礎力診断テストを実施し、進路実現に必要な基礎学力の向上に努める。 全職員による面接指導や小論文指導を計画的に実施する。 進路情報を生徒、保護者へタイムリーに提供し、進学・就職の100%実現を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の進路実現へつなげる事が出来た。また、基礎力テストの結果を進路指導へと活かせるように研修を実施した。 進路希望に関する情報を学年で共有し、面接・小論文指導を計画的に行い、個々に応じた対応をした。 学科別集会において、3年生の進路内定生徒の体験談を下級生に聞かせたり、3年生の総合実践の授業で礼法指導を重点的に指導し面接に対応できるようにした。 	3		<ul style="list-style-type: none"> 卒業生のお話を聞かせることは有効だと思う。 小論文指導の向上と効果に成果があがっているようで良い。また、大学入試の改革も予定されているので、都商の対応を応援したい。 自衛隊に入隊できた卒業生が増加して良かった。

【自律した品格ある生徒の育成】 本校生徒として誇りを持ち、言動に責任ある自律した品格ある生徒を育成する。					
評価項目	具体的方策 または 指標等	取組の成果と課題 および 改善策等	自己評価	学校関係者評価	学校関係者評価コメント
① 元気な挨拶の励行を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 朝の登校時間に、生徒・職員で校門での挨拶運動を行う。 「挨拶」の持つ意味や大切さ・その力が、コミュニケーションを行う上で、非常に重要なものであることを生徒に伝えていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 部活動生や生徒会が挨拶運動や清掃活動を行い、明るい表情でスタート出来ている。自主的に挨拶や駐輪整理ができるようにしたい。 部活動以外の挨拶も同様にできるようにさせたい。 	3	3	<ul style="list-style-type: none"> 元気な挨拶が全校生徒で推進できていると思う。学校に来るととても嬉しい気持ちになれる。
② 授業規律を遵守させる。	<ul style="list-style-type: none"> 日常的な挨拶やマナー、並びに服装容儀等の指導を充実させる。 授業の始めと終わりの挨拶・礼法など、日頃から授業を受けるに当たっての心構えを指導し、授業規律の保持に努める。 全員で清掃を行う体制を確立し、整った環境の中で落ち着いて学習することの重要性を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業改善に努めるため、公開授業などの授業研修や、生徒による授業評価を実施している。今後も続けることで、授業規律の順守を図るように取り組みたい。 整理整頓を徹底させ、学業へ専念できる環境づくりを心掛けた。ロッカーの整理や読書の時間（朝）も、本以外は机に出さないことを徹底した。 トイレの利用マナー向上についても、集会等を利用して話した。 	3		<ul style="list-style-type: none"> 朝の読書が1日の始まりとして良い効果を生んでいる。今後も継続して欲しい。 昨年度より問題行動が増えているのは気になるが、いじめ調査、教育相談など事前対策や問題行動が起きた時点での早い対応など、学校側の指導体制は整っていると思う。
③ 校則、交通法規、IT機器マナーなど遵法精神及び生命・人権尊重の精神を滋養する。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒指導上の諸問題に適切に対応すると共に、職員の共通理解のもと、迅速な手立てをとる。 保健教育指導を充実させ、自主的に健康管理のできる生徒を目指す。 火災や地震など、防災教育を行うことにより、危機管理に対する能力を育成する。 盗難などの防犯意識を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 昨年より問題行動が増えている。生徒の変化に早い段階で指導していきたい。常時指導の徹底をしたい。 人権学習の事前研修を充実させた。 専門委員会の交通安全委員による立ち番指導を行った。継続していきたい。 盗難防止のため、11月より移動教室の施錠を行った。防犯意識は向上した。 	3		<ul style="list-style-type: none"> 登下校時に携帯電話やスマホで音楽（イヤホン）を聞きながら自転車を運転しているのを見かける。マナー向上をお願いする。
④ 積極的生徒指導の推進（面接指導の強化、生徒理解の深化、教員間の連携、保護者との連携、啓発活動、問題行動の早期発見・解決）	<ul style="list-style-type: none"> 全校集会や学年集会等で、高校生としての自覚や規範意識および責任を持つことの大切さを啓発する。 学年会や教育相談室との連携を密にし、問題行動や不登校等の未然防止・早期発見に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題行動が起きた時点で、全校や学年で集会を持つことができた。 4月にいじめ調査を実施。記名のあったものについては担任をはじめ関係の職員に連絡を取り内容の確認や相談などの対応をした。 6月と11月に教育相談のアンケートを実施した。このうち、相談を希望する生徒について対応した。 相談室へ来た生徒（延数で20名）について対応した。相談内容は部活動や友人関係について等が主なものであった。 	3		<ul style="list-style-type: none"> 学校外での都商生のイメージはおおむね良好である。 防災士の資格を取得して地域貢献をしてもらおうとありがたい。
⑤ 生徒会、学科長会、部長・キャプテン会育成と自治意識を滋養する。	<ul style="list-style-type: none"> 「朝の読書」によって、落ち着いた雰囲気の中で、学校の日が始められるように、生徒の意識の確立を行う。 学科長（生徒）を活用して、生徒主体の活動を企画・実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 年度当初に朝読書の意義や方法について職員の共通理解を図ったが、学年やクラスによって、取り組みに差がある。 朝の読書を教師側の管理で行うのではなく、図書委員会の活動として行うとより一層生徒たちの意識を高められると思う。 生徒を主体とした学科集会を実施した。学科長を中心に企画・運営を行い、生徒の学科意識を高め、自治能力を育成している。 キャプテン集会や部活動生集会、未加入者集会を行い、部活動の在り方や未加入者の再加入を促した。継続して行いたい。 	3		<ul style="list-style-type: none"> 今後の図書委員会の自発的な活動に期待したい。 「図書館だより」を生徒が、先生方から指導を受けながら発行するのも良いのではないかな。 自治意識の滋養、生徒の主体性向上のために様々な取組が始まったことを高く評価したい。
⑥ 生徒会を中心とした生徒主導の学校行事運営を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会活動をはじめ、生徒の主体性を重視した行事運営を心掛ける。 清掃時間を有効に活用し、敏速な行動・効率のよい作業を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会役員選挙を行い、生徒たちによる学校活性化を意識させた。生徒会が学校と生徒の橋渡しになるように生徒総会や文化祭等の行事を企画・運営した。しかし、役員の数や選挙のあり方、各種委員会の活性化など課題も残った。 図書委員会は年間を通して学級文庫を管理し、カウンター当番を務めるなど、読書環境づくりに努めている。 全員で校内美化に努める意義について話し、職員による点検活動を行った。またゴミの分別方法についても、全校集会等で周知徹底したが、全員が出来たとは言い難い。 	3		<ul style="list-style-type: none"> 先輩から後輩へ都商の文化が伝わっていくことは時間がかかるかもしれないが大いに期待できる。 他校の生徒会との交流があり、良いと思う。
⑦ 3年生が2年生へ、2年生が1年生へと都商文化・伝統の継承を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 文化祭、体育大会、クラスマッチの活動に文化・伝統の継承を意識させる。 毎日の清掃、身の回りの整理整頓を行わせ「自ら学習環境をつくる」意識を持たせる。 文化祭・体育大会等での学年間の交流を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 1年生は、文化祭を迎える頃には「都商生」らしくなった。文化祭合唱においても一定のパフォーマンスを発揮し、参加態度も良かった。行事における会場設置も指示通りできている。 販売実習の際は、合唱コンクールをCATVでも実施、3年生はヤッササンバを踊った。都商が一体となった取り組みを実現することで母校への誇りを感じてもらえたと思う。 上級生からの話は、良い話ばかりであった。継続して行いたい。 	3		<ul style="list-style-type: none"> 文化祭、体育大会ともどの学年も一生懸命取り組んでおり、大変良かったと思う。PTA役員もバザーの開催等で良い体験をさせていただき、感謝している。

【部活動を通して高い人間力を持つ生徒の育成】 体育系部活動・文化系部活動を問わず、本校部活動の輝かしい歴史を継承するとともに、さらに高い目標に挑戦する。競い合い、助け合い、学び合う中で、高い人間性、人間力を持つ生徒の育成を図る。					
評価項目	具体的方策 または 指標等	取組の成果と課題 および 改善策等	自己評価	学校関係者評価	学校関係者評価コメント
① 部活動生は、勉学と部活動の両立を第一とする。	<ul style="list-style-type: none"> 部活動と学習の両立をいかに保つかを一人一人に考えさせて、実践につなげる。 部活動の未加入者集会等を開催したり、各担任・顧問から未加入者への入部の呼びかけを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 学年により、加入率・合格率のばらつきはあるが、部活動と学習の両立に苦勞している生徒も見られる。朝や昼休み、放課後の補講で合格実績を上げた。 個別指導などで、部活動と学習の両立を支援してきたが、計画的な学習の習慣化が大切である。 	3	4	<ul style="list-style-type: none"> 運動部、文化部とも多くの生徒が好成績をあげているのは都商のすばらしいところです。 部活動の指導をされている先生や関係者のサポートがあつてのことと感謝したい。
② 全国高校総体や高文連大会で上位入賞を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> 各種大会、競技会において、No.1への意欲を高め、生徒の意識の高揚に努める。また、高文連関係の大会において、上位入賞を目指す。 感動と記憶に残る大会にする。 	<ul style="list-style-type: none"> バレーボール部、男子ソフトテニス部、卓球部が県大会優勝、九州大会でも上位の成績を残した。文化部では商業に関する部活動の活躍も目立った。吹奏楽部は九州吹奏楽コンクールで10年ぶりに金賞を受賞した。部活動生の活躍は学校や地域が元気になる。これからも期待したい。 	4		<ul style="list-style-type: none"> 部活動と学習の両立は大変難しいと思う。試験前の課外をこれから継続して欲しい。
③ 生徒・保護者への部活動の教育的意義や目的を理解させ、健全な部活動を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> 機会あるごとに、生徒・保護者に、部活動の果たす役割について話をしている。 精神力・人間性育成の側面のみならず、進路実現のためにも、部活動に加入する意義があることを説いていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 部活動生集会や未加入者集会、キャプテン集会を開いた。未加入や退部者に対する指導をしていきたい。 	3		<ul style="list-style-type: none"> 部活動の加入率も高い、勝利至上主義にならずに、人間教育をさせていただくことも大事。ただ、都商は実績も高い。
④ 部活動を通しての高い人間性や人間力の育成指導目標とする。	<ul style="list-style-type: none"> 部活動が勝利至上主義ではなく、人間性を磨くことを第一義としていることを前提に指導する。 部活動が、生徒の人間形成を支援していくものであることを説いていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 服装や時間の厳守など基本的なことを伝えていく必要がある。 部活動生が、朝の清掃活動、駐輪整理等積極的に行つた。良い伝統が継承されている。 	3		<ul style="list-style-type: none"> 容儀指導をしなくともお互いに注意しあえる環境を作っているところがすばらしい。
【地域文化を担い、貢献できる生徒の育成】 地域社会と積極的に様々な交流を行うことで、生徒の見識を広めさせ、社会性や公共心の育成を図る。					
評価項目	具体的方策 または 指標等	取組の成果と課題 および 改善策等	自己評価	学校関係者評価	学校関係者評価コメント
① 保護者・同窓会・地域社会との連携し信頼される学校を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> PTA関連行事（PTA総会、学年別保護者会、PTA親睦ミニバレーボール大会、文化祭PTAバザー等）を、計画的に企画し開催する。 同窓会等との連携を密にし、協力を得ながら、創立110周年記念式典・祝賀会の開催に向けて取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度はPTA会長を含め、副会長3名が新役員となり、PTA行事も不安を抱えながらの実施となったが、バレー、バザーその他研修大会への参加など意欲的に活動し生徒・職員との連携が成果を出せた。 110周年記念式典・祝賀会は先生方の協力もあり無事に終わることができた。 	3	4	<ul style="list-style-type: none"> 商品開発、地元クーポンマガジン誌「みるく」は長く続く都商ならではのものとして認知度高い。 ななつ星関連、市HP英訳にも注目している。これらの活動は生徒の就職にどれくらい役立っているのだろうか。 市や商工会、様々な企業の方々に来校していただき、講話等の機会を作っても良いと思う。 個人で地域とつながるボランティア活動をしている生徒もいるのではないか。
② 地域の様々な行事や、ボランティア活動等に積極的に参加する。	<ul style="list-style-type: none"> 学校と地域との連携を推進し、「地域に開かれた学校」を目指す。 学校に要請のあつた地域の行事等については、常に前向きに協力を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 3年生課題研究における地域連携の特色ある取組 ① 地元企業と連携し、地域資源を有効活用した商品開発 ② 市役所や商工会議所との連携による地域PR活動（ななつ星都城駅乗り入れに伴う地域特産物の販売を通してのマーケティング調査の実施や市役所観光HPの英訳ページの作成） ③ 地元クーポンマガジン誌の年2回発行 2学年のコマーソウル（販売実習）を通して商業活動の実践を行うとともに、地域に貢献できる人材育成を図る。 	4		<ul style="list-style-type: none"> 学校案内リーフレットも良くできている。
③ 広報活動を通して、本校の教育活動状況を逐次発信したり、中学校訪問の機会を増やすことで、中学3年生の都商進学希望者の増加に努める。	<ul style="list-style-type: none"> 学校ホームページ、学校案内リーフレット等を充実させ、中学生を意識した情報の広報に努める。 学級便り、図書便り、保健便りなど、家庭で親子の会話ができる情報の提供に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度より中学校の担当者を配置し、中学校への説明会などで共通資料のほか中学校ごとの資料を作った。またHP更新も積極的に行い、学校案内なども工夫改善した。特に今年度は、中学校の先生向けの学校説明会を10月に、またオープンスクールを12月に開催し学校PRに努めた。その結果、今年度は160名程度の参加であった。今後も続けていきたい。 図書委員会発行の図書館だよりを作成して、図書館の利用者を増やすようにした。 	4		<ul style="list-style-type: none"> HPだけでなく、今日の出来事等をフェイスブックで紹介していただくと、中学生をはじめ多くの方々に見ていただけると期待する。 「図書便り」「保健便り」とも見やすく工夫のきいた便りが出来ている。是非保護者にも見てほしいが、生徒がちゃんと保護者に渡しているか心配である。
④ 創立110周年記念事業を成功させ、今後の発展を願うと共に都商生としての一層の誇りと帰属意識を醸成する。	<ul style="list-style-type: none"> 110周年記念事業の取組をとおして、これからの都商文化の創造と地域との関わりが重要であることに気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が110周年式典を通して本校への帰属意識と母校で学ぶことの大切さを再認識するいい機会となった。 	3		<ul style="list-style-type: none"> 素晴らしい110周年記念式典でした。おめでとうございました。子どもたちも改めて、伝統ある都商について学べたと思います。また、PTAの参加者も多く、感動しました。

